

2023年11月14日

## アウディ、ジェールで PPE 用電気モーターの生産を開始

- 新開発の電動システム、Audi Q6 e-tron シリーズに初めて搭載
- CEO デルナー：「ジェールは、PPE 用のコンパクトで効率的な電気モーターの生産に最適な場所」
- 約 700 人の従業員が 3 交代で勤務、1 日あたり最大 2,000 基の PPE 用電気モーターを生産

(ドイツ本国発表資料) 2023年11月7日 インゴルシュタット/ジェール：アウディは、ハンガリーのジェールで PPE (プレミアムプラットフォームエレクトリック) 用の電気モーターの生産を開始することにより、電動システム生産における新たな歴史の扉を開きます。この新開発の電気モーターは、PPE をベースとする Audi Q6 e-tron シリーズに搭載されます。インゴルシュタット本社では初めてとなる、アウディのこの電気自動車の生産を、年末から開始する予定です。アウディはこの準備の一環として、インゴルシュタットに独自のバッテリー組立施設も設置しました。ハンガリーのジェールを拠点とするアウディ ハンガリーは、新設された 15,000m<sup>2</sup>の生産エリアで、ステーターおよびトランスミッションコンポーネントとともに、PPE 用のアクスルもこの場所で組み立て、製品テストも行います。

AUDI AG 最高経営責任者 (CEO) ゲルノート デルナーは、次のように述べています。「ジェールは、PPE 用の非常にコンパクトで効率的な電気モーターを生産するにあたり最適な場所です。高度な資格を持つ現場のチームは、2018 年から既に 40 万基以上の電動システムを生産してきました。これは非常に貴重な経験となっています」。ジェールは、Audi Q6 e-tron シリーズが搭載する PPE 用電気モーターとともに、Audi Q8 e-tron の駆動システムも生産しています。さらに、フォルクスワーゲングループの MEBeco (モジュラーエレクトリックドライブツールキット) ベースの車両に使用する、電気モーターの生産エリアも現在増設中です。

アウディは、PPE 用の電気モーターを生産するために、3 つのラインを新設しました。ステーターの生産ラインには 28 の作業工程があり、トランスミッションコンポーネントの生産ラインには 15 の工程があります。1 つのアクスルを組み立てるには 190 の個別の工程が必要です。この工場では、約 700 名の従業員が生産に携わり、これらのコンポーネントを量産するため、ジェールの従業員は 3 交代で 1 日あたり最大 2,000 基の PPE 用電気モーターを生産します。この拠点は、アウディとポルシェの両方ブランドにコンポーネントを供給します。これにより、以前の電気モーター組み立て施設と比較して、生産における垂直統合の範囲が再び拡大されました。AUDI AG 生産およびロジスティクス担当取締役 ガード ウォーカーは、次のように述べています。「ジェールにおける生産開始は、Audi Q6 e-tron の生産増強における重要な節目となります」。

2012 年から 2016 年までアウディ ハンガリーで車両生産担当マネージングディレクターを務めたウォーカーは、次のように付け加えています。「私は個人的な経験から、アウディ ハンガリーのチームがいかに関心を持って仕事に取り組んでいるか、そして世界最大のエンジン工場が、さらに体系的に電動化を進めていることを知っています。駆動システムおよびネットカーボンニュートラルな生産に関する膨大なノウハウにより、ジェール拠点はアウディの世界的な生産ネットワークにおいて不可欠な存在となっています」。

アウディにおける生産は、e モビリティへの移行に際して世界的な生産ネットワークを包括的に変革しており、360factory と呼ばれるコンセプトとともに、未来の生産のあるべき姿について明確なビジョンを

策定しています。この総合的で持続可能なアプローチの一環として、アウディは既存の工場の近代化、デ

ジタル化の変革を進めています。ジェールでの生産は、2020年以降、すでにネットカーボンニュートラルなものになっています。この拠点の屋根にはヨーロッパ最大規模の太陽光発電システムが設置されています。また、ジェールは、産業用地熱エネルギーを使用しているハンガリー最大の工場でもあり、アウディは輸送および物流会社の DB Cargo と協力して、PPE 用の電気モーターをジェールからインゴルシュタットまで、ネットカーボンニュートラルな方法で輸送しています。

### 30年間のサクセスストーリーを振り返る

PPE の生産が開始される今年、アウディ ハンガリーは設立 30 年を迎え、そのサクセスストーリーを振り返っています。設立以来、ジェールは世界最大のパワートレイン工場へと成長し、アウディはハンガリーで初めてプレミアムセグメントの車両を生産したメーカーとなりました。さらに、CUPRA Terramar (クプラ テラマール) の生産も行われる予定で、ジェールは世界的な生産ネットワークの相乗効果をさらに高めることとなります。ここにある技術開発部門は、アウディおよびフォルクスワーゲングループの製品開発を担当しています。この部門は、生産だけでなく、従業員の広範囲なノウハウを活用して、グループ内の他ブランドに幅広いサービスを提供しています。

アウディ ハンガリーは、アウディ、ランボルギーニ、ベントレーにより構成されるプログレッシブブランドグループ向けに、ボディコンポーネントの量産体制を拡大するため、昨年、金型製造施設を拡張しました。ここでは、フロントフード、リアハッチ、ドア、フェンダー、ルーフ、サイドパネルフレームなどの複雑なボディコンポーネントが、主にアルミニウムから製造されています。

アウディ ハンガリーは設立以来、約 120 億ユーロを投資してきました。これによりハンガリーの産業界で最大級の投資が行われた工場の 1 つとなりました。アウディ ハンガリーの現在の従業員数は約 12,000 人です。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：  
アウディ コミュニケーション センター  
0120 - 598106



---

アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、13 カ国 22 か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界 100 以上の市場に存在しています。2022 年、アウディ グループは、161 万台のアウディ、15,174 台のベントレー、9,233 台のランボルギーニ、および 61,562 台のドゥカティを販売しました。2022 会計年度において、アウディ グループは総収益 61.8 億ユーロ、営業利益 7.6 億ユー

---

---

口を達成しました。世界中で、アウディ グループでは2022年に87,000人以上が働き、そのうち54,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。

---